

## 2023年度（令和5年度） 事業報告書

| 計画件名  | 実施状況   |
|---|--|
| <p>1. プロジェクト実施に必要なコンサルティングおよび支援活動</p> <p>(1) 技術アドバイス、コーディネーター活動</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ JAIST 特任教授（産学官連携本部）として派遣（2回/月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAIST 教員の研究支援</li> <li>・ ベンチャー支援</li> <li>・ 外部機関からの問合せ対応 等</li> </ul> </li> <li>■ コーディネーター（事業推進担当）としての活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種外部委員等への委嘱 <ul style="list-style-type: none"> <li>- JAIST イノベーションプラザ運営委員</li> <li>- JAIST ベンチャー・ビジネス研究課題選定・評価委員会委員</li> <li>- JAIST 超越バイオメディカルDX研究拠点 産学官連携推進会議産学連携推進委員</li> <li>- 金沢工業大学 DXリスク推進委員会委員</li> <li>- 金沢工業大学 金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム運営委員</li> <li>- 金沢医科大学研究推進センター非常勤講師</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■ 新型コロナウイルス検出キット販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和3年度に大学発ベンチャー企業より国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の『開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業（令和3年度～令和5年度）』に申請し採択された「現場使用可能な新型コロナウイルス変異株RNA検出システムの開発と開発途上国・新興国での性能評価」において、令和5年度活動費として4/1付で契約締結した。（契約額19,653千円）</li> <li>・ 最終事業年度である令和5年度の以下の活動計画について、プロジェクト管理及び出口戦略へのアドバイス等の支援を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- インドでの薬事承認取得を経て、事業期間内に検出キットRICCAの販売を開始する。</li> <li>- 多検体同時計測システムを開発し、性能評価を経て事業期間内に供給を開始する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |

| 計画件名 | 実施状況   |
|------|--|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インドでの薬事承認取得については、陽性患者数減少により事業期間内（令和6年3月末まで）での完了が困難となったため、AMED に対し以下のように計画変更を申請し、了承された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 事業期間内の薬事承認取得を断念し、将来のパンデミックの際に即応できるよう、九州大学病院での臨床試験を進めるとともに、コンサルタント会社を活用してインドへの輸入ライセンス申請に必要な情報を収集する。</li> <li>- 次年度以降、自己資金によるインドでの薬事承認取得を目指す。</li> </ul> </li> <li>・ 多検体同時計測システムの開発については、96 個のサンプルを同時に 30 分以内に検査できる分注ロボットを実装したデバイスおよび制御ソフトウェアの開発を完了した。</li> </ul> <p>■ 能登珪藻土を活用した電気ピザ窯の開発及び販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和3年度に七尾市の企業より申請し採択された『いしかわ中小企業支援ファンド事業「能登珪藻土を活用した電気式ピザ窯 Dogama K3 の開発及び販路開拓」（事業期間は令和3年9月～令和5年12月、補助金額は9,000千円）』において開発した電気式ピザ窯の販路開拓のため、販売戦略立案等に向けた支援を実施した。</li> <li>・ 新たな販売戦略として、一般愛好家向けに「石窯料理スクール」を開講する準備を進めるとともに、北陸経済連合会と連携して12月に三谷産業グループの三谷産業アドニス(株)とのマッチングを実施し、能登珪藻土を活用していることや金沢美大との産学連携により開発された経緯等も含め、商品の魅力について評価いただいた。</li> <li>・ 1/1の能登半島地震において被災し、ピザ窯の生産は休止しているが、復興に向け支援を継続していく。</li> </ul> <p>■ 社史製作へのAI導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当財団の支援を受け、令和3年度に富山市の企業より申請し採択された「富山県IoT・AI活用ステップアップ補助金」を活用し、金沢大学との共同研究により開発した自動音声認識AI（音声のテキスト化）、写真背景自動削除AIに続き、令和4年度からは原稿作成（テキスト化</li> </ul> |

| 計画件名                      | 実施状況  |
|---------------------------|---|
| <p>(2) 北陸3県のヘルスケア産業推進</p> | <p>したデータからキーワードを自動抽出し、キーワードの詳細を表示する)および作成した原稿の校正を支援するAIの開発に取組み、令和5年度末までの業務実装に向けた支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した原稿の校正を支援するAIのプロトタイプが完成し、令和6年1月20日に金沢大学にて評価試験を実施、良好な結果を得たため、3月8日に納入された。</li> <li>・ 取材・インタビューしたテキストデータからChatGPTにより年表を自動作成する機能について、金沢大学との共同研究契約を締結（完成は令和7年3月末予定）</li> </ul> <p>■ 北陸地域におけるフェムテック産業振興の可能性 研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：7月12日</li> <li>場所：石川県庁内会議室</li> <li>参加者：委員長、委員9名、オブザーバー他22名</li> <li>内容：女性の健康に関する社会的課題の把握</li> </ul> </li> <li>・ 第2回研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：8月24日</li> <li>場所：オンライン</li> <li>参加者：委員長、委員9名、オブザーバー他23名</li> <li>内容：事業化へ向けた5項目のKPI等の抽出</li> </ul> </li> <li>・ 第3回研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：10月13日</li> <li>場所：オンライン</li> <li>参加者：委員長、委員10名、オブザーバー他19名</li> <li>内容：設定したKPI実現に向けた具体策に関する議論</li> </ul> </li> <li>・ 第4回研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：11月24日</li> <li>場所：石川県庁内会議室</li> <li>参加者：委員長、委員11名、オブザーバー他13名</li> <li>内容：検討結果を踏まえた成果報告書の内容確認</li> </ul> </li> <li>・ プレスリリース（2月5日） <p>上記研究会を設置することにより、北陸地域における働く女性の現状や課題とともに、女性活躍を推進するための事業アイデアについて議論・検討を実施し、報告書を取りまとめた旨、プレスリリース実施</p> </li> </ul> |

| 計画件名                              | 実施状況   |
|-----------------------------------|--|
| (3) 北陸地域における工作機械を中心とした産業高度化連携支援計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 北陸ヘルスケア産業推進連絡会<br/>開催日：2月19日<br/>場所：北国ビル会議室（オンライン併用）<br/>参加者：とよまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会、HIAC 合計7名<br/>内容：<br/>・ 各機関の R5 年度活動状況、R6 年度活動計画<br/>・ 北陸地域でのフェムテック産業振興に関する提案（HIAC）<br/>・ その他 意見交換</li> <li>■ 令和4年度における連携支援計画の実施状況報告書を提出（6月20日付）<br/>支援事業の実績件数 3件（計画件数 3件）<br/>(3件の内訳)<br/>・ 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修<br/>・ 工作機械におけるデジタルシミュレーション技術 研究会<br/>・ 3県のIoT、AI導入に関わる相談窓口の情報交換会</li> </ul> |
| (4) デジタルシミュレーション人材育成(工作機械産業のDX支援) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ CAEユニバーシティ特別公開フォーラム2023での講演<br/>CAEベンダーであるサイバネットシステム株式会社が主催する表記フォーラムにおいて、当財団より「北陸の工作機械産業におけるデジタルシミュレーション技術向上に向けた取組み」と題し、過去5年間にわたり実施してきた、デジタルシミュレーション技術に関わる人材育成について紹介した。<br/>開催日：8月4日<br/>場所：アキバプラザ（東京都千代田区）</li> <li>■ 「2023年度 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修」の実施<br/>前年度に開催した「工作機械におけるデジタルシミュレーション技術 研究会」での意見を踏まえ、アカデミアの協力により座学を強化した新たなカリキュラム構成として以下の通り実施した。<br/>開催日：11月20日～21日<br/>場所：北国ビルディング第4会議室</li> </ul>    |

| 計画件名                                | 実施状況   |
|-------------------------------------|--|
| <p>(5) 国等の事業への支援<br/>(共催、後援、協力)</p> | <p>講師：東京大学 木崎 通 氏<br/>サイバネットシステム株式会社<br/>テーマ：「工作機械における熱変位量の推定」<br/>受講者：11名（工作機械企業8社）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「Matching HUB Hokuriku」を共催<br/>主 催：北陸先端科学技術大学院大学<br/>開催日：11月9日～10日<br/>場 所：ANA クラウンプラザ金沢</li> <li>■ 「国際漆展・石川2023」への後援<br/>主 催：国際漆展・石川開催委員会<br/>開催日：11月9日～21日<br/>場 所：石川県政記念しいのき迎賓館<br/>&lt;同 輪島展&gt;<br/>開催日：12月23日～2024年1月6日<br/>場 所：石川県輪島漆芸美術館</li> <li>■ 「北陸地域 ICT イノベーションセンター2023」への後援<br/>主 催：総務省北陸総合通信局、北陸情報通信協議会、<br/>ICT 研究開発機能連携推進会議<br/>開催日：11月24日<br/>場 所：KKR ホテル金沢</li> <li>■ 「スタートアップ・コネクト・Hokuriku」への協力<br/>主 催：中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 他<br/>開催日：12月4日<br/>場 所：ホテル金沢</li> <li>■ 石川健康長寿プロジェクト市民公開講座への後援<br/>主 催：金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学<br/>開催日：3月24日<br/>場 所：金沢市文化ホール</li> </ul> |

| 計画件名       | 実施状況   |
|------------|--|
| 2. 新事業創出助成 | <p>■ 令和5年度公募案件（3件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/10 令和5年度新事業創出助成公募開始</li> <li>・ 5/12 公募〆切、申請件数：14件</li> <li>・ ～6/23 外部評価委員も含めた評価の結果、採択の3件を選定</li> <li>・ 6/24 申請者へ採択通知および不採択通知を発信</li> </ul> <p>採択案件（3件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 株式会社喜こころ「ECショップ連携自動販売機事業が各種国内の社会問題やインバウンド対応の解決策となる」</li> <li>② NTG「地域資源の好循環サイクル構築を通じたアマモ由来甘味料開発」</li> <li>③ 有限会社小畑製紙所「耐久性と印刷性を兼ね備えた超高耐久性越前和紙の開発」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/6 上記の採択案件のうち、② NTG「地域資源の好循環サイクル構築を通じたアマモ由来甘味料開発」の採択辞退に伴い、次点としていた下記の案件採択について会長決裁 <ul style="list-style-type: none"> <li>公立小松大学「ベッドサイド型ブレイン・マシン・インタフェースによる脳卒中片麻痺のためのリハビリテーションとその実装」</li> </ul> </li> <li>・ 11/14 計画変更等承認申請により、採択案件のうち①「ECショップ連携自動販売機事業が各種国内の社会問題やインバウンド対応の解決策となる」における助成対象を、株式会社喜こころから合同会社株坂商事に変更</li> </ul> <p>■ 令和4年度採択案件（2件）</p> <p>中間報告書を受領（7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 網善商店「かぶら寿し乳酸菌を使用したお米ヨーグルト（麹甘酒ヨーグルト）と「腸活スイーツ」の開発、及び「D to C」プラットフォームの構築</li> </ul> <p>（中間報告の概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 石川県工業試験場に委託し、自社「かぶら寿司」から乳酸菌を分離抽出し、「お米ヨーグルト」製造のための原株の培養条件や発酵条件などの検証を実施</li> <li>- 乳酸菌とお米ヨーグルトの機能性評価・実証のため、生存評価試験、アミノ酸含有調査、免疫調整作用の有無について検証を実施</li> </ul> |

| 計画件名 | 実施状況  |
|------|---|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 腸活スイーツの試作開発・テストマーケティングのため、「腸活×食」をコンセプトとしたインスタグラムの運用を開始</li> <li>- 腸活スイーツのD to Cマーケティング方法確立のため、商品名やパッケージデザインを検討するとともに、SNSを活用した販売チャネルを構築</li> </ul> <p>② 北酸株式会社「地域主導のカーボンネガティブを実現する、ロータリ式小型反応炉を用いた熱炭併給 事業開発」<br/>(中間報告の概要)</p> <p>a: 低比重燃料に対応する燃料供給システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 木質ペレット（比重 0.65）と比較し、籾殻燃料（比重 0.17）は、高頻度に燃料補給とクリーニング作業が必要となることを確認</li> <li>- 木質ペレット用フィーダーでは籾殻を移送できなかったため、フィーダースクリューを再設計し4倍の回転数で稼働させることで、実用十分な移送量を実現できることを確認</li> </ul> <p>b: 燃焼条件検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 焼却灰の中に有害物質である結晶性シリカを生成させない条件を検討中</li> <li>- 結晶性シリカが生成せず、水稻の肥料となる水溶性シリカを生成する燃焼レシピを検討中</li> </ul> <p>C: その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 本システムの副生成物である「籾殻燻炭」の有価値化のため、東京大学との実証試験を開始</li> <li>- JA 富山と連携し、「籾殻燻炭」の用途開発を開始</li> </ul> <p>■ 令和3年度採択案件（2件）</p> <p>① 株式会社ラピュタインターナショナル「眠っていた着物の帯でアップサイクルバッグを製作し、世界に発信、グローバル展開を目指す」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/6 計画変更等承認申請書受領（期間変更）</li> <li>・ 9/29 最終報告書受領</li> </ul> <p>(最終報告の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 米国最大のクラウドファンディングサイト「キックstarter」に出展し、当初目標 20 万円を上回る 30 万円超の支援を達成</li> </ul> |

| 計画件名 | 実施状況  |
|------|---|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>- JETRO が主催する「米国アマゾンジャパン」の採択を受け、出展を実施</li> <li>- 2022年9月、2023年9月、東京国際ギフト・ショーへ出展し（2022年はISICOの石川県ブース、2023年は単独出展）、商談により京都や日光の土産物業者より受注</li> <li>- 大型デパートやオンラインショップサイトの事業者より、お客さまから預かった帯をリメイクする B to C の販売を提案され、2023年の東京国際ギフト・ショーへ展開</li> </ul> <p>② 公立小松大学「脳の運動制御能力の分析に基づいた「脳卒中患者の治療効果モニタリングシステム」の構築と北陸地域の回復期リハビリテーション病院への実装」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4/26 計画変更等承認申請書受領（期間変更）</li> <li>• 1/30 最終報告書受領</li> </ul> <p>（最終報告の概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 従来の運動タスク（指標追跡運動課題）をタブレット PC で実施可能にするとともに、オフラインで行っていた脳の運動制御能力の分析を、サーバーを利用して遠隔で行えるようシステムの改良を実施</li> <li>- 回復期リハビリテーション病院（やわたメディカルセンター）の通院患者を対象に、構築したシステムの臨床試験を実施</li> <li>- 助成事業開始 3 年以内の実用化・事業化を目指し、今後は以下の事項に取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 重症の脳卒中患者を含めたより多い脳卒中患者のデータが記録できるよう、磁石機能が導入できる電子ペンとタッチパネルの記録システムを新たに開発する。</li> <li>✓ システムの普及対象を一般の高齢者や高齢者施設にも拡張し、高齢者の運動衰退や病気の早期発見等に活用できるシステムとしても活用する。</li> </ul> </li> </ul> |

| 計画件名          | 実施状況  |
|---------------|---|
| 3. 国等の委託・補助事業 |   |
| 経済産業省関連事業     | <p>■ 北陸 RDX</p> <p>事業概要：北陸地域の産業基盤と DX・ESG 投資の融合により地域産業の高度化と新産業創出を導く産学官融合の RDX (Regional Digital Transformation) 拠点を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/3 令和 5 年度補助金交付決定通知を受領（補助金額：50,000 千円）</li> <li>・ 5/19 第 6 回 HD x A 総会<br/>場所：ホテル金沢（オンライン併用）<br/>参加者：60 名<br/>内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) R4 年度事業実績</li> <li>(2) R5 年度事業計画</li> <li>(3) RICH 事業計画</li> <li>(4) 意見交換</li> </ul> </li> <li>・ 6/1 第 6 回 ESG ファイナンスラボ<br/>場所：ホテル金沢（オンライン併用）<br/>参加者：28 名<br/>内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) R5 年度新規推進計画 11 件の概要</li> <li>(2) R4 年度の活動実績と推進計画の状況</li> <li>(3) 意見交換</li> </ul> </li> <li>・ 10/17 第 7 回 ESG ファイナンスラボ<br/>場所：ホテル金沢（オンライン併用）<br/>目的：RICH (RDX インキュベータ北陸) 設立を見据えたエコシステムのためのネットワーク形成<br/>参加者：57 名<br/>内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 基調講演（金融庁サステナブルファイナンス推進室長 西田勇樹 氏）</li> <li>(2) パネルディスカッション（地域企業に向けた新たなファイナンスの可能性）</li> <li>(3) 事業者ピッチ（事業概要、金融・投資機関への要望）</li> </ul> </li> <li>・ 11/1 中間審査<br/>場所：経済産業省別館<br/>審査委員：5 名（匿名）<br/>結果：事業継続を認める</li> </ul> |

| 計画件名 | 実施状況   |
|------|--|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li> <p>• 11/2 3 拠点合同中間報告会<br/> 場所：オンライン<br/> 内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各拠点の令和5年度中間報告</li> <li>- ディスカッション「J-NEXUS 拠点の自立化モデルの可能性と課題～北陸 RDX の法人化を事例として～」</li> </ul> </p> </li> <li> <p>• 11/6 株式会社 RDX インキュベータ北陸 (RICH) 設立<br/> 所在地：能美市旭台 2-13 いしかわクリエイトラボ 207<br/> 資本金：300 万円 (設立時)</p> </li> <li> <p>• 12/19 第 7 回 HD x A 総会<br/> 場所：ホテル金沢 (オンライン併用)<br/> 参加者：61 名<br/> 内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会長挨拶</li> <li>(2) 推進計画の進捗状況</li> <li>(3) 主な活動状況</li> <li>(4) 中間審査の概要</li> <li>(5) RICH 設立について</li> <li>(6) 次年度に向けた取り組み課題</li> <li>(7) 意見交換</li> </ul> </p> </li> <li> <p>• 2/7 株式会社 RICH 会社創立記念イベント「北陸からはじめる、日本の地域創生モデルづくり～北陸 RDX、RICH との共創へ～」<br/> 場所：ホテル金沢 (オンライン併用)<br/> 参加者：93 名<br/> 内容：<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) HDxA 会長・副会長、経済産業省、来賓挨拶</li> <li>(2) 講演「北陸 RDX と RICH の共創</li> <li>(3) 事業者ビデオレター</li> <li>(4) 名刺交換会</li> </ul> </p> </li> <li> <p>• 2/15 令和 5 年度成果報告会 (3 地区合同、オンライン)</p> </li> </ul> |

| 計画件名                    | 実施状況   |
|-------------------------|--|
| 4. 普及啓発活動               |  |
| (1) 技術シーズ（研究成果）の発表会等の開催 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イノベーションシーズ講演会<br/>産業技術総合研究所の事情により、今年度中止</li> </ul>  |
| (2) 講演会・セミナー等の開催        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 北陸産業活性化フォーラム<br/>開催日：10月6日<br/>場所：ホテル金沢（オンライン併用）<br/>参加者：81名<br/>内容（講演）：<br/>①「来年度から始まる健康日本21第三次を見据えた職域ヘルスケア～女性と若年層のウェルビーイング（健幸）の実現に向けて～」<br/>講師：株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表 西根 英一氏<br/>②「新しい健康社会の実現 ～健康経営の推進と PHR (Personal Health Record) の活用～」<br/>講師：経済産業省 ヘルスケア産業課 係長 徳増 陽氏</li> <li>■ バイオデザインワークショップ<br/>開催日：2024年1月23日～24日<br/>場所：北国ビルディング4階<br/>参加者：5名（オンライン1名含む）<br/>内容：以下の事項に関する講義と演習<br/>- デザイン思考およびバイオデザインの概要<br/>- ニーズ調査<br/>- コンセプト選定<br/>- プロトタイピング 他</li> </ul> |
| (3) 会報誌の発行              | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ HIAC NEWS112号の発行（9月）<br/>内容：<br/>- 北陸地域におけるフェムテック産業振興の可能性研究会設置<br/>- 2022年度事業実績・2023年度事業計画<br/>- 北陸RDX活動報告<br/>- 賛助会員紹介（熊谷組）</li> </ul>   |

| 計画件名        | 実施状況  |
|-------------|---|
| (4) 展示会への出展 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ HIAC NEWS113 号の発行 (3 月)<br/>内 容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>- 北陸産業活性化フォーラム</li> <li>- 北陸地域におけるフェムテック産業振興の可能性研究会活動報告</li> <li>- 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修</li> <li>- バイオデザインワークショップ</li> <li>- 北陸 RDX 活動報告</li> <li>- 会員紹介 (丸越工業株式会社)</li> </ul> </li> <br/> <li>■ 北陸技術交流テクノフェア (10/19-20) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIAC 1 ブース (北陸経済連合会と共同出展)</li> <li>・ 北陸 RDX 1 ブース</li> </ul> </li> <li>■ 富山県ものづくり総合見本市 (10/26-28) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIAC 1 ブース (北陸経済連合会と共同出展)</li> </ul> </li> <li>■ Matching HUB Hokuriku (11/9-10) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HIAC 1 ブース</li> <li>・ 北陸 RDX 12 ブース</li> </ul> </li> </ul> |
| その他         | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全国地域技術センター連絡協議会 第 1 回事務連絡会<br/>開催日 : 5 月 9 日<br/>場所 : 大阪科学技術センター<br/>内容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各機関におけるトピックス</li> <li>- インボイス制度、電子帳簿保存法への対応状況 他</li> </ul> </li> <br/> <li>■ 全国地域技術センター連絡協議会 第 2 回事務連絡会<br/>開催日 : 10 月 11 日<br/>場所 : 航空会館ビジネスフォーラム (東京都港区)<br/>内容 : <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各機関におけるトピック</li> <li>- 経済産業省より次年度施策の説明 他</li> </ul> </li> </ul> </li> <br/> <li>(2) 理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第 37 回理事会<br/>開催日 : 6 月 6 日<br/>場所 : ホテル金沢</li> </ul> </li> </ul>   |

| 計画件名  | 実施状況  |
|---|---|
| <p>(3) 評議員会</p> <p>(4) 業務及び財産状況の<br/>検査</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第 38 回理事会 [書面決議]<br/>開催日：6 月 28 日</li> <br/> <li>■ 第 39 回理事会<br/>開催日：3 月 14 日<br/>場所：ホテル金沢</li> <br/> <li>■ 第 31 回評議員会<br/>開催日：6 月 28 日<br/>場所：ホテル金沢</li> <br/> <li>■ 第 32 回評議員会<br/>開催日：3 月 29 日<br/>場所：ホテル金沢</li> <br/> <li>■ 監事監査<br/>実施日：5 月 26 日<br/>結果：指摘事項なし</li> </ul> |